

学習マンガを活用して勉強しよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

8月の末になり、夏休みも終わりですね。学校によってはすでに始まっているところもあるかもしれません。今日は勉強の仕方の一つとして、学習マンガを活用して勉強しようというお話をさせていただきます。

2. 勉強は、学校の教科書や参考書、問題集を使うことが一般的です。ただ、何十年か前からですが、テーマがいろいろある歴史や理科については、マンガを活用して勉強しようという取り組みがあります。その一番有名なものが、小学館から出版されている「少年少女 日本の歴史」というマンガの日本史です。1981年に発売され、今までに約1800万部売られています。ですから、日本史をマンガで勉強された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。日本にはマンガという素晴らしい文化がありますので、これから勉強する方にはマンガを活用することをお勧めしたいと思います。

3. 日本史や世界史を勉強する場合、ふつうはまず学校の教科書を読みます。次に、そのことについての詳しい参考書を読みます。中学生や高校生であれば、日本史の研究や世界史の研究など、少し難しめのものを参考にしながら勉強する。これもとてもよい方法です。しかし、なかなかイメージがわきにくいようです。

4. そこで私がお勧めするのは、例えば日本史を勉強する場合であれば、まずはマンガ日本史で勉強する部分を読むことから始めるのです。

私は、石ノ森章太郎さんが好きで、石ノ森章太郎さんがかいた「日本の歴史」というマンガのシリーズが手元にあり、第1巻から第55巻までをよく読ませていただいています。これは、日本の歴史を55巻に分けて、詳しく詳しくマンガで紹介しているものです。50～7、80年間の短い時代が1巻分のマンガにまとめられています。

日本の歴史をマンガで読んでイメージをつかみ、そのあとで学校の教科書や参考書を読んで学習し、知識を定着させる。このようなことも一つの勉強の方法であると思います。

5. 次に、世界の歴史についてお話します。私は、集英社文庫の「漫画版 世界の歴史」全10巻を持っています。これは、1巻のペルシア帝国とローマ帝国から始まり、10巻のパレスチナ問題と東西冷戦までと世界の歴史を10巻に分けてマンガで説明しているものです。世界史を勉強するときには、まずは世界の歴史をマンガで読み、そのあと学校の教科書や参考書を読んでいくというのがよいと思います。

世界の国々の歴史についてはなじみのないものが多いので、まずはマンガで勉強するのがよいと思います。

6. 例えば、中国の唐の時代を勉強する場合でお話すると、漫画版世界史では、第2巻で三国志と唐の繁栄までを紹介しています。ですから、漫画版世界史の第2巻を読んでイメージをして、それから学校の教科書を読むと非常にわかりやすいと思います。このような方法をお勧めします。

7. 私は非常にマンガが好きなので、いくつか紹介させていただきます。まずは手塚治虫さんの「陽だまりの樹」というマンガについてです。

東京大学の医学部は江戸時代の種痘所からスタートしてできたもの、また、適塾が元になって大阪大学の医学部ができたと言われていています。このような医学の歴史についてかかれたマンガが「陽だまりの樹」です。手塚治虫さんの祖先の方の活躍を中心にかかれたもので、これを読むと、江戸時代から明治時代にかけての医学の歴史が非常によくわかります。ですから、まずはこの「陽だまりの樹」の1巻から8巻を読んで、その上で医学の歴史の教科書を読む。このようにすると、医学や福祉、介護を勉強する方にとって、非常に興味深い勉強ができると思います。

8. さらに、ジョージ秋山さんという足利市出身の漫画家の先生がいらっしゃいます。この方がかいた「貝原益軒 養生訓」というマンガがあります。これは、ジョージ秋山さんが糖尿病を患って入院した経験から、自分の反省も込めてかかれたマンガです。江戸時代の貝原益軒が健康を維持することについて書いた「養生訓」を、ジョージ秋山さんはマンガと文章でわかりやすくかきました。この本もまた素晴らしいです。

9. このように、マンガを活用して日本史や世界史の勉強をしたり、医学の道に進みたい方は手塚治虫さんの「陽だまりの樹」を読んで、東大や大阪大の医学部の基礎となった種痘所の歴史を学んだりする。また、成人病にならないためにジョージ秋山さんの「貝原益軒 養生訓」を読んで勉強するなど、マンガの活用方法はたくさんあります。ですから、勉強の仕方の一つとしてマンガを活用して様々なことを学んでほしいと思います。